

やよい

編集・発行
弥生区民活動センター
運営委員会
中野区弥生町1-58-14
TEL 3372-0845
FAX 3372-0846

弥生区民活動センター まもなく開設一周年

弥生区民活動センターが昨年の七月十九日に発足してからもなく一周年を迎えます。弥生地区より選出された運営委員が地域事業部会と広報部会とに分かれて、それぞれ活動してきましたが、これまでの活動実績を紹介いたします。

- ◆地域事業部会
①福祉事業↓共催で「やよいニコニコ体操」・「みんなで歌おう」・講演会
- ◆広報部会
旧「弥生地域ニュース」は「タウンニュースやよい」として再スタートしました。内容的にも



「まだまだ人生これからだ」を実施し好評を博しました。
②防災・防犯対策事業↓「救命救急法とAEDの使い方」講習会を実施、五十名近い参加をいただきました。
③環境事業↓高齢者や障がい者等の弱者を支える仕組み作りを検討するため「地域支えあい検討会」を二回実施し、委員及び地域住民の理解を深めました。

出来るだけ地域に密着した話題を毎月掲載する事に努めました。発行部数も増加を工夫し、銀行支店への設置や四つの中学校の生徒に個人配付を開始する等、従来の八百部から二千三百部に大幅に増加させて、四回発行しました。



救命救急法とAEDの使い方講習会

元南部すこやか福祉センター
地域支援担当副参事 岩浅英樹
運営委員会発足一周年おめでとうございます。転換に向けて遅くまで議論したことが思い出されます。タウンニュースや地域事業の実施と、地域の力の大きさを改めて感じました。今後弥生地域が益々住み良いまちなることを信じています。

中野駅周辺まちづくり分野主査
(元センター所長) 田中 明子

区長との対話集会

三月二十一日弥生区民活動センター集會室で「区長との対話集会」が開催されました。参加者八名と少人数でしたが、問題意識の高い方が多く、区長と活発な意見交換が行われました。内容の詳細は区のホームページに掲載されますが、首都圏直下型地震が近いとの予測の影響で、防災関連の質問が多く出ました。

区長との対話集会 (弥生区民活動センター 開催)
合川 昭 南部すこやか福祉センター 所長
⇒中野区厚志者福祉事業団
岩浅 英樹 南部すこやか福祉センター 地域支援担当副参事⇒経営室 (行政管理担当)
久保 勝志 弥生区民活動センター 主査
⇒ 子ども教育部 主査

24年7月1日～集會室使用料改定

弥生区民活動センター 以利用分から適用

時間帯	午前9時～	午後1時	午後6時
洋室3-4	600円 番室	800→700 ▲100円	800→700 ▲100円

本一高齢者会館以中階分から適用

高齢者集會室	200→300	200→300	200→300
	+100円	+100円	+100円

和室二	200→300	300→400	300→400
	+100円	+100円	+100円

町会に参加しよう

東日本大震災で「絆」という言葉が脚光を浴びました。しかし、とかく都会地では近隣のあいが希薄で、他人に無関心という風潮が見られます。



お土お土参加した町会活動の様子

やポコ二十周年の集い

やよいボランティアコーナーは、よき先輩の意志を受け継ぎ、地域の皆様や、役所・関係機関・町会等のご支援を頂き、会員一同力を合わせて活動してまいりました。



やポコ二十周年の集い

堅く考えず、二十年続けてこれら事に感謝し、地域の皆様と一緒に楽しいひと時を過ごしたいという事で、「てんてんてん」一座「座長藤間悠千代さん(元宝塚スター)のご好意により、「童謡・唱歌・民謡等の舞踏ショー」の公演を開くことになりました。会員は勿論、地域の大勢の皆様のご来場をお待ちしております。(S)

なかしん広場オープン

五月連休明け以降に、中野新橋のたもとに「なかしん広場」が新規オープン予定です。小さな広場ですが、周辺住民の憩いの場として、是非ご利用下さい。

やよいトピックス

今回は区民活動センター集會室を利用しての趣味の会で、地区祭りの作品展常連を二つ紹介いたします。

◆**弥生絵手紙の会**◆
平成六年にスタートし今年十八年目を迎えます。会員は現在十数名で、毎月第一・第四木曜日の午後一時〜三時が定例の会合日です。会員の方に

紙で一番大事なこととはと伺うと「絵も字も下手がよい、その方が貰った方が元氣が出る」と



のことに。昨年は中野区に二十以上ある絵手紙の会がまとまって被災地にお見舞いの絵手紙を出したそうです。会は特に先生を持たず自習が基本。取材当日絵手紙を書く代わりに編み物をしていられる方もあり、和気あいあいとした自由な雰囲気の会でした。

◆**パンの花**◆
弥生地域センター開設時に東中野地域センターで久保田先生が教えていることをセンター職員が聞き、弥生でもと言うことで講習会からスタートし、その後同好会として発足しました。三十年以上続いている会です。会員は現在十数名で、原則第二週と第四週の金曜日午前中が定例の会合です。パン粘土と言われる白い生地に油絵具を加えて

人ひと



東京工芸大学学長 若尾 真一郎さん

弥生地区唯一の大学である東京工芸大学は一九二二年に設立された小西写真専門学校を前身とし、現在は芸術学部と工学部の二学部十二学科を擁する総合大学で学生総数は約五千人です。芸術学部はマンガ学科・アニメーション学科等特色のある7学科があり、工学部も建築学科・メディア画像学科等5学科を擁しています。大学は両学部の連携に積極的に取り組み、工芸融合科目の「工房科目」を単位として設定するなど、工学や芸術の垣根を越えた視野の広い技術者・アーティストを育成しています。若尾さんは当大学初の芸術畑出身（イラストレーター）の学長で、便利すぎるデジタル社会だからこそ「人間・私」を大切に「やさしさや創造性」を発揮するよう学生に説いています。そのため定期的にランチミーティングを学長室で実施し、学生の生の声や悩みを聞いているそうです。ご自身も好奇心旺盛で新しい事にチャレンジするのが好きとのこと。中野キャンパスの充実を契機に、従来以上に地域社会との連携を深めたいとの抱負を語っていました。



着色して、綺麗な花を制作します。パンと聞いて食べられるのかと勘違いしますが、観賞専用です。小品で二週間、

大作は二ヶ月はかかる根気のいる作業ですが完成時の充実感が励みだそうです。

◆「絵手紙の会」「パンの花」共に参加希望者は、定例の会合日に直接集會室へおいでになるか、センター事務局迄。

◆**やよいニコニコクラブ**◆
椅子に座り、音楽に合わせて体操します。あとは、お茶を飲みながら楽しいおしゃべり。毎月第二木曜日午後一時半〜三時 弥生区民活動センター三階

やよいの園

住所 弥生町三三三三三
☎ 三三七〇―九八四一
初めてご利用される方は身分証明書・緊急連絡先の分かるものをお持ち下さい。

☆ どなたでもどうぞ ☆
◆「やよい音楽の森 スプリングコンサート」
「日時」五月十七日（木）午後一時半〜三時
「場所」やよいの園二階大広間

「参加費」無料「対象」中野区在住の方「申込」当日直接お越し下さい。ゲストを二組お招きし、春のように暖かな音楽をお届けいたします。

弥生児童館

☎ 三三七二一〇八四一
◆やよい☆スペシャル（児童館のお祭り） 六月三十日（土）午後一時半〜四時、是非遊びに来て下さい。チケットは六月二十日（水）から児童館で配布。

◆**児童福祉キャンペーン「親子であそぼう」** 五月十八日（金）午前十一時〜三十分、中野保育園の保育士さんと遊びましょう。

◆**ビックタイム** 大学生とあそぼう 五月十二日（土）午後二時十五分〜一時間、向台小学校校庭集合（移動児童館）。

◆その他行事や詳しくは「やよいタイムス」をご覧ください。

朝日ヶ丘児童館

住所 本町二二二二二
☎ 三三七三三〇三八〇
◆**卓球やろう会** 月一回土曜日午後二時半〜五時 定員・申込みなし。地域のボランティアが教えてくれます。

◆**ママカフェ** 月一回程度予定。午前十一時〜午後一時 定員・申込みなし。

◆その他の行事や内容など詳しいことは、当該行事が近づいた

本一高齢者会館

住所 本町一一三一一
☎ 三三七三二二九五八
◆楽しく歌おう（西川文恵先生）五月二三日・六月二十日（第三水曜日） 十一時〜十二時
◆楽しい盆踊り 五月二十八日・六月二十五日（第四水曜日） 一時〜二時半
◆楽しいサロン「こどもの日」 五月九日（水） 日程変更。

編集後記

「江戸っ子は、五月の鯉の吹き流し、口先ばかりで腸わたはなし」と、昔の江戸の職人達は自分の気つぶの良さを自慢したそうです。江戸っ子の気質はさておいて、五月の澄んだ青空に、花の香りをのせた風に泳ぐ鯉のぼり。そう言えば、以前は都内でも元気に泳ぐ鯉のぼりをよく見かけていましたが、最近あまり見かけないのはさびしい。神田川沿いには泳ぐ鯉のぼりが似合うのね。（K）

